

Title	人生100年時代の労働法政策：長期雇用保障から「キャリア」の保障へ
Sub Title	Labour law in the 100 years of life : from life-time employment to career protection?
Author	両角, 道代(Morozumi, Michiyo)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019. )
JaLC DOI	
Abstract	<p>研究代表者（両角道代法務研究科教授）は、2019年夏にスウェーデンの Lund 大学法学部においてワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）をテーマに関する調査及び研究発表を行い、現地の研究者と意見を交換する予定であった。しかし、家族の病気により出張をキャンセルせざるを得なくなったため、文献の収集やメールによる現地研究者への問い合わせ等を行い、その知見を踏まえて「スウェーデンにおける親休暇・親給付の構造-法的視点から」（社会保障研究第16号〔2020年6月刊行予定〕）を執筆した。来年度はぜひスウェーデン出張を実現させ、さらに研究を進めたい。</p> <p>また、研究分担者（森戸英幸法務研究科教授）は、予定通りブラジルに出張し（2019年9月14日～2019年09月22日）、「第2回ブラジル・日本法律セミナー『訴訟と社会-労働法改革』」に参加、16日に行われたセッション「高齢者雇用とその引退に関する法政策(Law and Policy on the Retirement Process of the Elderly)」の報告者の1人として、"Age Discrimination, or Employment Security?" のタイトルでプレゼンテーションを行った。また、19日はリオデジャネイロで労働裁判所を訪問、法廷や調停室などの見学の後、多数の判事と意見交換を行った。この出張を通じて、ブラジルは日本と比較すると労働裁判の事件数が桁違いに多いが、それは日本では個別労働関係紛争処理法に基づく労働局のあっせんや労働基準監督署による指導などで解決しているレベルの紛争がすべて裁判所に持ち込まれている結果であることが明らかになった。ブラジル側は、日本は紛争の数を適度に抑制することに成功しており、そのメカニズムを是非参考にしたいと捉えているようであった。他方で日本側としては、ブラジルでは多数の事件をいかに効率的かつ迅速に処理するかという観点からシステムづくりがされており、その点は日本の今後の紛争処理システムを考える上で大いに参考になるという印象を持った。これらは、労働審判や通常訴訟にとどまらず、労働委員会における集団紛争の調整や不当労働行為救済制度のあり方を考える上でも重要な示唆となるであろう。</p> <p>Morozumi studied Swedish labor law and social security law focused on "work-life balance". She has written an article titled "The Structure of Parental Leave and Parental Benefits in Sweden – From Legal Perspective" for Journal of social security research vol.16 which will be published in June 2020.</p> <p>Morito visited Brazil during September14-22 to participate in the seminar "Lawsuits and Society-Labor Law Reform". As one of lecturers in a session "Law and Policy on the Retirement Process of the Elderly", he made a presentation titled "Age Discrimination, or Employment Security?". He also visited the labor court in Brazil.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000008-20190372">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000008-20190372</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	大学院法務研究科(法科大学院)	職名	教授	補助額	650	千円
	氏名	両角 道代	氏名(英語)	Michiyo Morozumi			
研究課題(日本語)							
人生100年時代の労働法政策 ——長期雇用保障から「キャリア」の保障へ——							
研究課題(英訳)							
Labour Law in the 100 years of life – From Life-time Employment to Career Protection?							
研究組織							
氏名 Name		所属・学科・職名 Affiliation, department, and position					
両角道代(Michiyo Morozumi)		法務研究科教授					
森戸英幸(Hideyuki Morito)		法務研究科教授					
1. 研究成果実績の概要							
<p>研究代表者(両角道代法務研究科教授)は、2019年夏にスウェーデンの Lund 大学法学部においてワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)をテーマに関する調査及び研究発表を行い、現地の研究者と意見を交換する予定であった。しかし、家族の病気により出張をキャンセルせざるを得なくなったため、文献の収集やメールによる現地研究者への問い合わせ等を行い、その知見を踏まえて「スウェーデンにおける親休暇・親給付の構造—法的視点から」(社会保障研究第16号[2020年6月刊行予定])を執筆した。来年度はぜひスウェーデン出張を実現させ、さらに研究を進めたい。</p> <p>また、研究分担者(森戸英幸法務研究科教授)は、予定通りブラジルに出張し(2019年9月14日~2019年09月22日)、「第2回ブラジル・日本法律セミナー『訴訟と社会—労働法改革』」に参加、16日に行われたセッション「高齢者雇用とその引退に関する法政策(Law and Policy on the Retirement Process of the Elderly)」の報告者の1人として、「Age Discrimination, or Employment Security?」のタイトルでプレゼンテーションを行った。また、19日はリオデジャネイロで労働裁判所を訪問、法廷や調停室などの見学の後、多数の判事と意見交換を行った。この出張を通じて、ブラジルは日本と比較すると労働裁判の事件数が桁違いに多いが、それは日本では個別労働関係紛争処理法に基づく労働局のあっせんや労働基準監督署による指導などで解決しているレベルの紛争がすべて裁判所に持ち込まれている結果であることが明らかになった。ブラジル側は、日本は紛争の数を適度に抑制することに成功しており、そのメカニズムを是非参考にしたいと捉えているようであった。他方で日本側としては、ブラジルでは多数の事件をいかに効率的かつ迅速に処理するかという観点からシステムづくりがされており、その点は日本の今後の紛争処理システムを考える上で大いに参考になるという印象を持った。これらは、労働審判や通常訴訟にとどまらず、労働委員会における集団紛争の調整や不当労働行為救済制度のあり方を考える上でも重要な示唆となるであろう。</p>							
2. 研究成果実績の概要(英訳)							
<p>Morozumi studied Swedish labor law and social security law focused on “work-life balance”. She has written an article titled “The Structure of Parental Leave and Parental Benefits in Sweden – From Legal Perspective” for Journal of social security research vol. 16 which will be published in June 2020.</p> <p>Morito visited Brazil during September 14–22 to participate in the seminar “Lawsuits and Society–Labor Law Reform”. As one of lecturers in a session “Law and Policy on the Retirement Process of the Elderly”, he made a presentation titled “Age Discrimination, or Employment Security?”. He also visited the labor court in Brazil.</p>							
3. 本研究課題に関する発表							
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)				
両角道代	スウェーデンにおける親休暇・親給付の構造—法的視点から	社会保障研究第16号	2020年6月(予定)				
森戸英幸	Age Discrimination, or Employment Security?	第2回ブラジル・日本法律セミナー『訴訟と社会—労働法改革』	2019年9月16日				